

平成20年雲南市議会9月定例会一般質問通告一覧表

平成20年9月16日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
1	14	小林 眞二 (一問一答)	1.市長の任期を振返って	(1)任期最後の9月議会であるが、今までの行政の采配をされた4年間の検証と自己評価、また、次期に向けての決意を伺う。 今までの雲南市まちづくりの現状認識と課題について 産業振興策や企業立地の成果は市長が思い描いた通りに行えたか 旧市町村の周辺地域、或いは連担地は寂れていくとの声があるが、魅力ある商店街の創出・後継者対策など、周辺町村の特色や資源を生かした積極的な発想での事業への取組みについての評価と今後の考え方は 新市建設計画で掲げた旧町村別オンリーワン事業は計画通りに行われているのか。また、今後目指すオンリーワン施策は	
			2.合併特例債の使用現状について	(1)合併特例債の現在までの各年度の使用状況について (2)合併特例債の今後の利用計画について	
			3.交流センターについて	(1)交流センターの必要性について、なぜ教育委員会(公民館)から市長部局(交流センター)に移さなければ、地域課題の解決や支援体制が整備出来ないか (2)自治体によっては地区公民館を協働のまちづくりの拠点として積極的に推進をしているが、この考え方への見解は (3)全協において1年の実施時期変更が示されたが、条例議案の提出は来年3月議会にこだわるのか	
			4.地球温暖化への対応について	(1)地球温暖化の現状及び予測に係わる基本的な認識についての所見は (2)温暖化防止への取り組みについて (3)年々進行する温暖化への対応は	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
2	17	吉井 傳 (一問一答)	1.掛合小学校・校庭(運動場)整備について 2.オンリーワン事業について 3.空き家利用の定住対策について	(1)基本的な考え方は (2)方向性と計画は (1)合併協議を踏まえたオンリーワン事業の現在の考え方は (2)各町毎の計画と推進状況は (3)今後の計画は (1)現在の状況は (2)農地・山林を付けた空き家対策が必要では (3)ふるさと会との空き家・農産物販売についての連携は	
3	26	阿川 光美 (一問一答)	1.中山間地域等直接支払制度の継続運動について 2.市政懇談会のあり方について 3.市営住宅家賃等の滞納者への対応について 4.あいさつ・返事は共同生活のはじまり	(1)我々の地域は高齢化が進み、この制度の継続がないと耕作放棄地や遊休水田等、不作付けの増加が進む小規模農家である。県・JA等と連携を取り、是非とも制度の継続運動をされたいがどうか (1)あり方と出席率の向上に向けての対策は (2)加茂町は、なぜ「かもてらす」1ヶ所の会場なのか (1)連帯保証人は滞納者への納付指導をするだけか、連帯保証人の意味を伺う (1)平成17年3月定例会の一般質問に続いての質問だが、市長は市の重要課題として「接遇の向上、接待日本一のまちづくり」を目指すとの事だったが、その成果を伺う(19年の広域連合での視察先、兵庫県丹波市役所・20年の議会運営委員会での視察先、山口県長門市役所に比べ相当差がある)	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			5.三刀屋総合センター改築について 6.4年間の総括と雲南市の将来は	(1)竣工式、開所日の日程は (2)現庁舎の解体、敷地の整備売却の方針はどうか (1)市長の4年間の総括は (2)雲南市の将来の展望は	
4	18	深田徳夫 (一問一答)	1.速水市政について 2.まちづくり基本条例と寄附事業について 3.議員提案等の検証について 4.交流センター構想について	(1)4年間で振り返ってその総括を問う (2)支持が得られるならば引き続き市政を担いたいと表明された、具体的にどのような視点でまちづくりを考えるのか伺う (3)次期リーダーは、職員の政策立案能力の向上に向けて何が必要であると考え、その対策を問う (4)次期リーダーには、定住促進の住宅形成が重要課題ではないかと思うが見解を伺う (5)障害者対策も重要な課題、障害者の利便を図る施設整備の調査結果と計画、今後の取り組みを伺う (1)雲南市寄附によるふるさと選択条例の実績は如何か (2)まちづくり基本条例に新たな公共が打ち出された、療養病床が削減されようとしている、施策として寄付金を募り高福祉による協働のまちづくりを目指しては如何か伺う (1)一般質問を通して議員提案される、これらの検証を全てされているのか問う (1)広報誌を通じて21年4月実施が公表されている。延期は行政不信に繋がる、どう打開を図るか所見を伺う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			5.使用料の改定について	<p>(2)実施に向けた環境づくりが整った住民組織については予算を含めてモデルとして育てては如何かを伺う</p> <p>(3)5月頃の全員協議会で市職員を配置すべきと意見を述べた。稀しくも先般も発言があったが協働のまちづくりの観点から再度見解を伺う</p> <p>(1)福祉施設・公民館など激変緩和が必要なほど改定料金が大幅である。住民の立場、利用目的が勘案されているのか伺う</p> <p>(2)18年度の稼働実績に置き換えて幾らの増収の利用料を算出しているのかを伺う</p> <p>(3)この改定案は政策部長会議で十分検討されたのか、稼働率の低下、住民活動の低下を心配する。発生した場合行政の責任、行革担当部長のほか施設管理する担当部長の見解を伺う</p>	
5	29	深津 吏志 (一問一答)	<p>1.雲南総合病院について</p> <p>2.後期高齢者医療制度について</p> <p>3.学校施設の耐震補強及び危険校舎改築工事について</p> <p>4.戦争やテロの不安について</p> <p>5.地球温暖化対策について</p>	<p>(1)雲南総合病院を閉鎖するようなことはないか</p> <p>(2)今後、医師確保など病院改革をどのように進めていく考えか</p> <p>(1)廃止して新しい制度を検討すべきと思うが市長の考えは</p> <p>(1)耐震化、改築工事はいつまでに完了する考えか</p> <p>(2)国の補助の嵩上げは、3ヶ年間といわれているが、延長を要望すべきと思うがどうか</p> <p>(1)小中高生など戦争を知らない世代に対して、戦争やテロ等をなくし恒久平和への理解を求め、どのような活動を考えているか</p> <p>(1)市環境基本計画、市地球温暖化対策実行計画、市地域新エネルギービジョンができたが、その実行はスケジュールも含めてどのように進めていくか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>6. 高速道路の早期完成と通行料金無料化への取組みについて</p> <p>7. 県道、市道の改良計画について</p> <p>8. 集落活性化の道筋について</p> <p>9. 地方分権とポスト過疎法への取組について</p>	<p>(2) 市民啓発のため全戸アンケートを行う考えはないか</p> <p>(1) 三次ジャンクションまでの完成見込みは</p> <p>(2) 三刀屋木次～宍道インター、松江インター～出雲市インター間の無料化の運動を行う考えはないか</p> <p>(1) 県道、市道の早期改良が必要であるが今後の計画は</p> <p>(2) 主要地方道玉湯吾妻山線遠所工区の改良計画は、農免農道による整備はできないか</p> <p>(3) 市道宍道線及び前原十日市線の改良計画は</p> <p>(1) 農業への企業の参入促進の取組みは</p> <p>(1) 地方の発展のためには地方分権は欠かせないと思うが市長はどのように進めていくべきと思うか</p> <p>(2) ポスト過疎法ではソフト面に力を入れ若者が定着できる環境づくりが必要と思うがどうか。また、過疎法継続のため、どのような運動を進めていく考えか</p>	
6	1	福島光浩 (一問一答)	<p>1. 協働のまちづくりにむけた行政改革について</p> <p>2. 子育て支援について</p>	<p>(1) 協働のまちづくりが求められる今、市役所の仕事、庁舎内での行政への取組みが市民に見えることが重要である。職員提案制度などの具体的な事例を伺う</p> <p>(2) 行政組織機構見直しの進捗状況と具体的な将来像について伺う</p> <p>(3) 民間への業務委託の現状と計画について伺う</p> <p>(1) マタニティマークの普及への取組みは</p> <p>(2) かもめ保育園の保育業務委託の現状について伺う</p> <p>(3) 今後の公立保育園保育業務委託の計画について伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>3.適正規模適正配置について</p> <p>4.雲南市寄付による政策選択条例について</p> <p>5.雲南のまちづくりについて</p>	<p>(1)統合小学校開校までの事業振り返りについて</p> <p>(2)今後のスケジュールと方針を伺う</p> <p>(1)寄付の状況について</p> <p>(2)今後の寄付拡大にむけた情報発信と市民提案事業の進め方について</p> <p>(1)ホースセラピーを利用した、まちづくりの計画は</p> <p>(2)これからのまちづくりには、交流人口の拡大につながる拠点施設の充実や民間の活力が重要であると同時に、市内・外の広域連携が求められる。雲南市の方針、支援策などの取り組みを伺う</p>	
7	20	板持達夫 (一括)	<p>1.産業の創出対策について</p> <p>2.交流センター計画について</p>	<p>(1)雲南市の将来人口は、現状維持の施策で行うとコーホート推計で大幅減少が予測されている。定住人口の維持には産業創出(企業誘致等)による雇用の確保が重要 産業振興センターによる効果は、雇用確保に実績を挙げたか。具体的効果と将来戦略の展望は 雲南市の新規学卒者の地元企業への雇用状況は。ホシザキ、三洋など大手に地元枠を拡大していく方策は 産業振興には地元商業(商店街等)の活性化が重要。官・民・商業者によるコミュニティビジネスの考えは 産業振興には財政出動が不可欠。積極的にすべきでは</p> <p>(1)公民館を廃し、新たに地域交流センターとし、地域振興(住民活動)、生涯学習、地域福祉の拠点とする計画であり、担い手は地域自主組織とされている。全体的に自主組織において受け入れ体制が充分とはいえない状況にあり、悩んでいるのが現状 実施時期を1年延長した理由は</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				公民館、自主組織関係者に対するこれまでの周知(説明)が十分であったか疑問が残る。ましてや市民の多くに理解がなされている状況ではない 今後どのように関係者、市民に理解を求める周知方策をとられるのか。一番の心配は、人の配置(確保)運営費を含む財源問題。市民の納得のいく財政支援策を明示していくべきだ	
8	11	堀江治之 (一括)	1.市民バス運行について 2.各種減免・負担免除制度について 3.地球温暖化対策について	(1)現在の市民バス運行の全体概要について伺う (2)昨年提案された、市民バス運行の見直しに関する基本的な考え方について、1日の乗車人数の平均が1人を下回る便については、原則廃止するとされていたが、現在どのような状況か伺う (3)今後、廃止としないようにする施策はないか伺う (1)物価の高騰に伴う経済情勢の悪化する今日、収入減などの影響を受ける市民向けに、国・県・雲南市の各種減免・負担免除制度を各部毎にまとめた冊子を発行する考えはないか伺う (1)平成18年2月に策定された「雲南市地域省エネルギービジョン」の3つの基本方針の推進の成果と今後の取組み方針について伺う (2)平成19年2月に策定された「雲南市地域新エネルギービジョン」の新エネルギーを具体的導入するための重点プロジェクト推進による成果と今後の取組み方針について伺う (3)太陽光発電に対し国も積極的な対応が図られるようになってきたが、市の新エネルギー機器導入補助金の予算増額は考えられないか伺う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4. 新型インフルエンザ対策について	<p>(1) 国・県においては新型インフルエンザ対策のマニュアルが策定され、それに伴う訓練が実施されているが、雲南市独自のマニュアルがあるのか、あるとすればその概要について伺う</p> <p>(2) 国が想定している感染被害が発生したとすれば、雲南市の被害想定はどのような事態を想定しているのか伺う</p> <p>(3) その際、職員の勤務体制はどのような体制を考えているのか</p>	
			5. 緊急輸送道の橋の耐震補強について	<p>(1) 国道・県道の緊急輸送道となる橋の耐震補強工事が進められているが、市内の国道・県道の耐震化状況について伺う</p> <p>(2) 市道の緊急輸送道となる橋の耐震化状況について伺う</p> <p>(3) 耐震化対応のない橋について、今後の対応方針について伺う</p>	
			6. 高速道のインターチェンジの増設について	<p>(1) 高速道路尾道松江線の工事も順調に推進されているが、三刀屋・木次インターチェンジから市内 2 カ所のインターチェンジの他に増設の考えはないか伺う</p>	
			7. チャレンジデー2008 の対応について	<p>(1) 本年 5 月 28 日に実施された「チャレンジデー2008」の実施概要について伺う</p> <p>(2) チャレンジデー参加者の参加報告の取りまとめ方法について伺う</p> <p>(3) 今後チャレンジデーへの参加についての考えを伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
9	24	青木 幸正 (一問一答)	<p>1.雲南市の景気対策について</p> <p>2.高速道路松江・尾道間の完成後の経済効果について</p> <p>3.雲南病院の経営改善について</p>	<p>(1)雲南市の景気対策について伺う 農業用の燃料費、通勤等の車利用、また、車に頼っている市民は8割以上と思われるが燃料費の高騰に併せ食品の値上げも続き家庭への影響は計り知れないが市として対策は 通勤者は、ガソリン代が高いから住宅本拠地を職場近くに移す人も出ている。人口流出に拍車を駆け、人口減少と生活不安が景気を益々低下させているが、雲南市の商工業者の景気対策は原油、肥料高で農業者への影響は大きい例えば油代の補助等の考えはないか</p> <p>(1)松江・尾道高速道路完成後の雲南市の商業、経済効果をどう考えているか 高速道路無料区間三刀屋～掛合～吉田方面は通過点になり影響は大きい対策はあるか 日帰り、滞在型観光を考え中海、宍道湖圏域観光を取り入れた交流人口の拡大やインターネット利用で都会の子供達をターゲットに長期滞在型などの予定は 人が集まる魅力ある町づくりが必要と思うが計画はあるか。また、ブランド化はどうなっているか</p> <p>(1)雲南病院の経営改善が問われているがその経営状況について伺う 病院経営の悪化が慢性化している現在、概ね2年後に市立病院化の予定になっているが、これまでの累積赤字と今後予想される赤字額はいくらか。 また、昨年度2億円の資金不足、今後も続く可能性が生ずると思うが予想される不足額はいくら位になるか 2005年地方公営企業年鑑によると雲南病院の一時借入金3億8千万円で96事業者中83位となっているが1年以内に償還するようになっているかどうなっているか伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>経営状況によっては、診療科の縮小を余儀なくされると思うがこれについて伺う</p> <p>イ.各科の外来、入院患者数から見て今後医師の確保が困難で減少が予想される科は</p> <p>ロ.外来、入院患者の内訳で65歳以上と65歳以下の人数は</p> <p>ハ.各科100円の収入を上げるのにいくらかかっているか</p> <p>現在の病院施設病室や医療機器も決して近隣の病院と比較すれば恵まれているとは思われない。当面入院病室等の改善は市立病院までの早急の課題であり改築等の予定は</p> <p>統括副管理者雇用との関係から経営形態については近々の問題であるがどう対処されるか</p> <p>雲南病院職員が市立病院になれば市職員となるがその処遇について伺う</p>	
10	7	山崎正幸 (一問一答)	<p>1.協働のまちづくりについて</p> <p>2.公共交通について</p>	<p>(1)過疎化・高齢化が進行し、集落の自治、生活道路の管理、冠婚葬祭などの共同体としての機能が衰えて行きつつある。雲南市の現状を見据えた上での市の考えを伺う</p> <p>(2)市の現状の限界集落数と5年後、10年後は何集落と想定されているか伺う</p> <p>(3)雲南市の恵みをどのようにし維持・存続・伝承する考えかを伺う</p> <p>(4)5年後・10年後を見据えたまちづくりについて伺う</p> <p>(1)2年間の推移を比較し、事業費と利用者数、また費用対効果及び今後の利用者数の動向について伺う</p> <p>(2)乗合タクシー・デマンド方式、また、利便性の向上に向け地域で支える新しい福祉サービスを検討される考えはないか伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.安全・安心生活について 4.農業振興と地域活性化について	(1)除雪対応について伺う (2)久野小学校特別教室棟の修繕について伺う (1)耕作放棄地の現状と対策について伺う (2)生産・加工・流通・交流の一貫した農業振興を確立し、地域が活性化する考えを伺う	
11	15	石川幸男 (一問一答)	1.雲南市公営住宅の現状について 2.公共施設使用料の見直しについて 3.認知症対策について	(1)公営ストック住宅の整備状況と計画は (2)戸数の年次計画は。需要推計と入居希望の実態は (3)雇用・能力開発機構所有の「雇用促進住宅」譲渡、廃止に雲南市の対処方針はどうか (1)使用料見直しに現状分析と住民意見は、どう反映されたのか(スポ少活動等) (1)急激な増加傾向にあるとされる認知症高齢者の雲南市の状況を、どのように認識、推定されているのか (2)患者も家族も安心して暮らせるように、対策への取り組みが急がれるが、施策の所信を伺う	
12	27	安原重隆 (一問一答)	1.市政懇談会の反省について 2.交流センター設置計画の変更について	(1)市長は、68日間で33か所の市政懇談会を行なわれた。この市政懇談会を通して、市長がもっとも強く感じられたこと(自信を持たれたこと、反省されたことなど)は何か。上位3点ほど示されたい (1)移行時期と移行方法が変更された。結果的に言うと、市民の理解が得られるだろうことの認識が甘かったと言える。関係機関での十分な議論が必要ではなかったか。すべての行政手法について言えることだが、広く世論を喚起した後、施策や方針を提案することが必要ではないか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3. 中期財政計画と地域要望について	<p>(2)センター長の雇用者も、地域自主組織から雲南市交流センター協議会へ変更された。公民館長・センター長・主事等の選任・雇用については、住民の関心も高く、極めて大切なことである。変更理由は地域自主組織からの意見と事務負担軽減などがあるが、もっと丁寧な説明が必要と思うがどうか</p> <p>(3)財政支援について、人件費等これまでより下がることはないと言われているが、市民の間では「交流センター方式は、経費節減を図ろうとするものではないか」との疑問が多い。これについての正しい情報・説明が必要と思うがどうか</p> <p>(4)交流センターは、縦と横の交流のセンターとせよ</p> <p>(1)市政懇談会で説明された市の財政状況(中期財政計画等)については、かなり理解されたと思う。理解されながらも、多様な地域要望が次々と提出される。その相反する狭間で、住民への理解を求める努力を今後どのように行なう考えか</p> <p>(2)地域要望に対応できないものは、始めから対応できない旨を住民に説明し、理解を求め、要望の取りまとめなどしない方がよいではないか</p> <p>(3)中期財政計画の平成20年度と5年後の平成24年度の比較を見ると、全体の財政規模も、借金も貯金も、歳入も歳出も、すべて減少している。一応健全化への努力と思われるが、発展性がないと思う。発展性とは、自主財源つまり市税収入を増加させることであり、それは市民の所得を向上させることである。よく分る予算説明書の中で、住民の所得向上に役立つ予算はどれか。いま疲弊した地域を活性化させねばならない。小さいことと言うなら、市職員を始め市民は出来るだけ市内の商店や事業所(病院)を活用する協力姿勢が必要ではないか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.行政の投資効果の検証、 職員の行政事務の検証 ははなされるのか 5.ふるさと納税寄付金に ついて	(1)行政による大きな事業に大きな予算が投入されてきた。それらの事業の検証は行なわれているか。行なわれているとしたら、どのような検証が行なわれているか (2)職員についても同じことが言える。その職員が機構的にも事務処理能力的にも、住民サービスの向上に役立っているかの検証が行なわれているか。行なわれているとしたら、どのような検証が行なわれているか (1)ふるさと納税寄付金が正式にスタートし、先日の新聞に全国各県の状況が報じられていた。雲南市では雲南市ふるさと会などへ呼びかけているか。その状況と反応は	
13	35	佐藤嘉夫 (一問一答)	1.促進住宅木次宿舎について 2.請川排水施設について	(1)雇用促進住宅木次宿舎の居住者の住宅確保について (1)動力ポンプによる内水排除施設の設置促進について	
14	2	藤原政文 (一問一答)	1.市営住宅使用料滞納管理について 2.「協働」について	(1)市営住宅使用料の滞納が長期に亘った時点で、連帯保証人に通知が届き、連帯保証人が困惑されると言う事例が見られる。 司法の場での判断に委ねなければならないという不安定な管理でいいのか 連帯保証人に対し「配慮ある対応」とは言い難い 以上のような観点から、 連帯保証人への早期通知 連帯保証人の毎年更新 等の改善が必要と考える。この点についての見解を求める (1)「協働」の持つ意味を改めて問う。意味を解り易くすることによって、「協働」が推進されるものとする (2)役割分担が示されることも、住民にとって解り易くなる。双方協議の上、ガイドラインを示す考えはないか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.預かり保育について	<p>(3)「お互いの意見を尊重」の観点から、自治会長会の夜開催の考えは無いか</p> <p>(4)「自分たちの地域は自分たちで守る」と言いながら、鳥獣被害により耕作意欲減退が現状である。この点における「協働」は、どのように考えるか</p> <p>(5)尾原ダム、そのアクセス道を含め「チェリーロード」を造るべきと考える。「協働」なしでは創り上げられない。市長の見解を伺う</p> <p>(1)検討中とのことだが、方向性といつ頃結論を出すのか</p> <p>(2)「地域」を守ろうとする思い、動きが多くある。「協働」で行政の役割、地域の役割は何か</p>	
15	3	景山隆義 (一問一答)	<p>1.緑のふるさと協力隊員について</p> <p>2.市道、農道等の支障木の処理について</p> <p>3.携帯電話不通話地域について</p> <p>4.農業施策について</p>	<p>(1)平成20年度事業中止となった理由は何か</p> <p>(2)定住した隊員もあり一定の成果はあったと思うがどうか</p> <p>(3)今後も隊員の受入れはしないのか</p> <p>(1)市内道路の支障木について今後どのような対策がなされるのか</p> <p>(2)各地域、高齢化により道路管理に限界がきている。どのように考えるのか</p> <p>(3)容易に処理ができる専用の機械導入の考えはないか</p> <p>(1)市内の不通話地域解消に向け今後の対応はどのようになされるのか</p> <p>(1)市独自の施策がない中、地域全体で取り組む「環境にやさしい農業」に対し農業版振興補助金の策定の考えはないか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				(2)雲南市米のブランド化確立のため、ライスセンター・ライスビルの建設は必要だ。どのように考えているのか	
16	9	村尾晴子 (一問一答)	1.地球温暖化問題について 2.有害鳥獣被害対策について	(1)今年の夏の猛暑の影響について 熱中症の状況は 農作物などの影響は その他異常な現象は無かったのか (2)雲南市省エネ対策の成果と今後の基本的な取組みについて (3)太陽光発電の推進と対応について (4)家庭部門、事業部門の削減、目標に対する具体策は (5)市職員のノーマイカーデーの状況と今後の取組みは (1)有害鳥獣駆除に対しての奨励金について	
17	32	渡部彰夫 (一問一答)	1.農業対策の不足感について	(1)原油や肥料、飼料など資材の高騰を受け、「農家経営が存亡の危機」にあるとの切迫感から行政側の緊急対策が急務である。高騰した起因は、農家には全く無関係であります。雲南市におけるその現状と緊急対策について伺う。 農業用燃料・肥料対策について 畜産農家の飼料等対策について イ．飼料対策(購入関連分) ロ．肉用子牛対策 ハ．酪農対策 ニ．肥育牛対策 ホ．その他関連分 今後の農事経営安定対策について、具体的にどのような事に取り組まれるか伺う	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.食料自給率向上への行動計画について	<p>(1)日本の自給率を新たに自給率目標50%の達成に向けた計画を策定し、自給率の向上のため国民運動を展開するとの政府の方針である。本市の農業振興と併せ、自給率向上へどのような手段と行動を発信されるか考えを伺う</p> <p>農地の確保と有効利用について 新規需要米の生産の定着・拡大等について 農業者の経営安定化について 米消費拡大の推進について</p>	
			3.地方財政改革と雲南市の将来像について	<p>(1)地方自治体は今まさに大改革時代の真ただ中にあります。自治体の今後を左右する大きな制度改革が施行されています。一つは地方財政健全化法と第2次分権改革である。雲南市の誕生以来4年目の今日、国から地方への権限移譲と税源移譲がもたらす影響度は極めて大きい。雲南市の将来発展のため、次のことについて伺う</p> <p>地方制度調査会の答申では、市町村合併は「有効で適切な方策」と位置付けたが、市長の総合評価はどうか</p> <p>現在の行政の守備範囲を改めて見直す必要はないか、見直すとすればどのようなことがあるか</p> <p>安定的な行政サービスの提供のため持続可能な財政基盤の整備について</p> <p>イ．中期財政計画で示された平成24年度で収支均衡の財政運営は本当に可能か、また変更はないか</p> <p>ロ．負の遺産(地方債残高)はどの程度削減し、財政運営の健全化が見込まれるか</p> <p>ハ．人件費と税収の均衡の可能性はどうか(道路特定財源の一般財源化などの影響度)</p> <p>ニ．過疎地域でのいわゆる限界集落へ集落支援策及び集落再編など講ずる考えはないか。また、過疎法の再延長の見通しはどうか</p> <p>新庁舎の建設年度は定かでないが、既に位置の決定がなされた。僅かでも建設基金の積立てに着手される考えはないか伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
18	5	細田 実 (一問一答)	1.食育基本法と雲南市の 計画について 2.交流センター構想につ いて 3.水道事業について 4.職員管理について	(1)食育基本法と雲南市の取組み状況は (1)社会教育の充実と公民館の関係を総括し、丁寧な議 論で方向性を出すべきではないか (1)水道未整備地区の対策について (1)健康管理について (2)時間外労働管理について	
19	12	光谷由紀子 (一問一答)	1.雇用促進住宅廃止問題 について 2.介護保険制度の第4期計 画策定について 3.原油高騰による原材料 価格や市民生活緊急支 援策について	(1)雇用促進住宅の全廃をどう捉えているか (2)木次宿舎の居住者の居住権、生存権が脅かされてい るが、現状をどう把握しているか (3)市の定住対策と逆行する内容である。市はあらゆる 手立てと責任を持った対応をすべきではないか (1)策定に当たっては利用者、高齢者の生活実態に即し た計画を 第3期計画の目標と実績について特養待機者、サ ービス利用者、認定後の未利用者の実態は 基金額の状況は 第4期の保険料、利用料、ホテルコストなどの減 額を 軽度者に対する福祉用具貸与の改善を ケアマネージャーの更新研修費用の助成を 人材確保について (1)国の支援策と市独自の支援策を 農業資材等の高騰による原材料価格支援について 市民生活への灯油等の購入費の助成について 社会福祉法人等に対する福祉ガソリン助成につい て 福祉施設に対する助成について 学校給食に係る保護者負担の軽減助成について	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.各種滞納金の解消について	(1)各種滞納金の解消については、きめ細やかな対応が必要である。総合相談窓口の設置を求める	